

ある晴れた日の午後

1. 「運命を信じますか？」 突然聞かれて

言葉見つからずに うつむいていた

一筋の風が 頬を打つように

勇気出せと導いたのに

「君はどうなの？」と尋ねた

uh- la la la uh- la la la

ある晴れた日の午後 僕は君と出会った

それが運命なんだと 本当は信じてる

2. 「明日も会えるよね？」 僕が尋ねる

「きっと、たぶん…」と 君が答える

目の前にある 現実見つめ

向き合い君を守るから

「一緒に歩こうよ？」と誘った

uh- la la la uh- la la la

ある晴れた日の午後 僕は君と出会った

それが運命なんだと 本当は信じてる

uh- la la la uh- la la la

ある晴れた日の午後 僕は君と出会った

それが運命なんだと 本当は信じてる

だって二人を包む 風が青いから